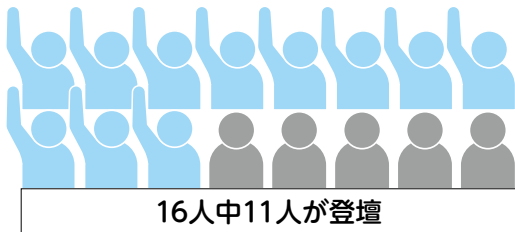


一般質問とは？

皆さんの生活に関わる大切な事柄について、議員が提言も含めて町に考えを聞きます。
今回の一般質問で、あなたの生活に関わる内容はありますか？



町政を問う！

一般質問

9月7日・8日

▶ YouTubeにて議会映像 配信中！



各議員の記事に掲載の二次元コードを読み込むと、その議員の一般質問の様子を動画でご覧いただけます。ぜひ、ご覧ください！

CONTENTS

子育て・教育

- ・学校保健の在り方を問う **杉下久仁子** P12
- ・小中学校の教員の多忙化対策と教育体制の改善を **向山 恭憲** P13
- ・女性支援、子育て支援と防災備蓄について **米村佳代子** P14
- ・風水害における児童・生徒の登下校の指導と学校や保育園における救急車の搬送について **前田 明弘** P15

まちづくり

- ・各地区のコミュニティ活動活性化に向けた課題解決を **間瀬 元明** P12
- ・町運行バス「う・ら・ら」の利便性向上を **田崎 守人** P13
- ・愛知県指定・東浦町指定文化財等、郷土資料館の保存・活用について **米村佳代子** P14
- ・コロナ禍の地域コミュニティを考える **大川 晃** P15
- ・東浦町立地適正化計画について **小松原英治** P16

くらし

- ・生物多様性の確保と農業被害防止に向けた特定外来生物防除活動を **杉下久仁子** P12
- ・自治体 DX の推進に期待する **間瀬 宗則** P17

健康・福祉

- ・どこまで続くのかコロナ感染拡大被害 **山田 眞悟** P14
- ・12月に改選される民生委員・児童委員について **前田 明弘** P15
- ・「子ども食堂」の支援について **秋葉富士子** P16
- ・男性トイレにサンタリーボックス(汚物入れ)の設置を **秋葉富士子** P16
- ・がん検診の現状と課題について **間瀬 宗則** P17

安全・安心

- ・集中豪雨による対応について **間瀬 元明** P12
- ・7月12日豪雨の土砂崩れの復旧対応について **山田 眞悟** P14
- ・災害対策体制について **大川 晃** P15
- ・住民の安全安心を守る災害情報の伝達について **秋葉富士子** P16
- ・令和4年7月12日の豪雨災害及び東浦町防災マップについて **小松原英治** P16

その他

- ・農地転用について **小松原英治** P16

Q コミュニティ加入促進の見解は

A イベント優待等メリットを提案



間瀬 元明 議員



Q 各地区の区費・コミュニティ会費・自治の送達費は。

A 左表のとおり。

Q 近隣市町の広報配布の送達費は。

A 左表のとおり。

自治会名	自治会費	地区名	区費	コミュニティ会費
巽が丘ハイツ	0	森岡	0	500
八中	1,500	緒川	0	500
東浦葵ノ荘団地	2,400	石浜	0	500
東ヶ丘	2,400	藤江	0	600
森岡台	4,000	生路	0	1,000
午池	4,000	緒川新田	合計 2,400	
石浜中	6,000	市町名	発行回数(回)	1世帯あたり(円/年)
南ヶ丘	7,900	美浜町	12	190
平地台	10,000	東浦町	12	195
		常滑市	12	207
		知多市	12	271
		半田市	12	278
		大府市	12	321
		武豊町	12	571
		東海市	21	603
		阿久比町	21	826
		南知多町	12	2,847

自治会名	自治会費
巽が丘ハイツ	0
八中	1,500
東浦葵ノ荘団地	2,400
東ヶ丘	2,400
森岡台	4,000
午池	4,000
石浜中	6,000
南ヶ丘	7,900
平地台	10,000



▲コミュニティに参加しよう

Q 集中豪雨による対応は。

A 町有財産に関わる被害は、土砂崩壊が27カ所、道路冠水が34カ所、公共施設の雨漏りが13件、文化センター駐車場の冠水、その他の被害が床上浸水

2戸と床下浸水1戸を含む浸水23カ所。

Q 本町が発令した避難情報は。

A 道路崩壊のため森岡宇上山之上の8世帯13人と土砂崩れのため緒川宇南

大狭間の5世帯13人に対して、避難指示を発令した。

Q 集中豪雨時の排水ポンプの稼働状況は。

A 緒川・森岡・藤江ポンプ場、町内8カ所の排水機場も自動運転にて稼働した。

Q 防災マップ(洪水ハザードマップ)による土砂災害警戒区域は想定された被害状況だったか。

A 今回の土砂崩壊発生箇所、該当する被害は1カ所だった。

Q 本町の幹線水路^①は今回の集中豪雨に対応できる断面だったか。

A 令和2年度策定の東浦町雨水管理総合計画での浸水シミュレーションで、年超過確率10分の1、時間70mmの結果から、対応できている。

Q 集中豪雨時の排水ポンプの稼働状況は。

A 緒川・森岡・藤江ポンプ場、町内8カ所の排水機場も自動運転にて稼働した。

Q 今年5月6日以降、町教育委員会・町学校保健会から保護者向けに「より正確に心臓の病気や背骨の曲がり、胸郭の様子を診断するために、お子様のプライバシーに十分配慮したうえで、今後、段階的に上半身脱衣による内科検診を行います」という内容のプリントが配布された。小学生は今年度から令和6年度、中学生は7年度から9年度にかけ実施していくとのことだが、プリントを受け取った保護者から不安の声が上がっている。ただし書きで、やむを得ず脱衣での健康診断を受けられない場合の相談を受け付けるともあるが、集団での同調や医師に反論できず、自分の意思に反し脱衣を行う児童生徒もいると考え、検診方法の再検討を求める。

Q 上半身脱衣の学校検診再検討を現時点では考えていない



杉下久仁子 議員



Q 今年5月6日以降、町教育委員会・町学校保健会から保護者向けに「より正確に心臓の病気や背骨の曲がり、胸郭の様子を診断するために、お子様のプライバシーに十分配慮したうえで、今後、段階的に上半身脱衣による内科検診を行います」という内容のプリントが配布された。小学生は今年度から令和6年度、中学生は7年度から9年度にかけ実施していくとのことだが、プリントを受け取った保護者から不安の声が上がっている。ただし書きで、やむを得ず脱衣での健康診断を受けられない場合の相談を受け付けるともあるが、集団での同調や医師に反論できず、自分の意思に反し脱衣を行う児童生徒もいると考え、検診方法の再検討を求める。

A 正確な検査や診察のため脱衣でなければ発見が難しい病気(脊柱側弯症や漏斗胸)もある。

町教育委員会も、脱衣による内科検診が児童生徒の意思に反してまで強制されるものではないとの認識。実際に学校で保護者からの申出により脱衣の程度を配慮し実施しているので、現時点で再検討は考えていない。

Q 特定外来生物^②の防除活動

A 本町で確認された特定外来生物は、また本町の「外来種対策の強化」と改正外来生物法との関連は。

Q オオキンケイギクやヌートリアの他、カダヤシ、ナガエツルノゲイトウ等11種類を確認。今後周知・啓発に努め、住民や事業者等の協力も得ながら防除等に取り組み

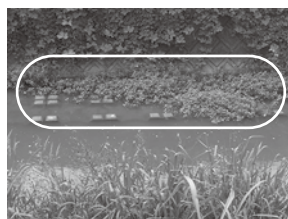
生理用品のトイレ設置を

安心して学校生活を送るため、トイレへの



▲着衣でも可能にしてほしい学校内科検診

Q 安心して学校生活を送るため、トイレへの生理用品のトイレ設置を



▲須賀川に生息する特定外来生物ナガエツルノゲイトウ(粹内の植物)

語句説明

①幹線水路…水を必要とする地域の全体水量を流す事ができる水路
②特定外来生物…海外起源の外来種で、日本の生態系や人命・身体、農林水産業に被害を及ぼすおそれのある生物のうち政令で指定されたもの

Q 小中学校の教員の多忙化対策を

A 働き方改革に向け議論を活発化



向山 恭憲
議員



Q 時間外勤務の管理規則とその達成状況は。

A 本町の教員に関する規則では、教員の時間外勤務時間の上限を1ヵ月45時間、1年で360時間としている。令和3年度、年間上限を超過した教員は、小学校で73%、中学校では72%である。

担任を兼ねていたり、各学校で教員配置を工夫し対応している。

Q 教員数不足対策として非常勤教員等の採用が考えられるが、対応策は。

A 本年7月以降の教員免許状の取扱い変更と講師登録のお願いを本年の「広報ひがしうら」9月号に掲載している。

Q 教員の多忙化状態の要因に、担当業務量の多さ、教員数不足等が考えられるが、状況は。

A 教員の授業以外の担当業務は、授業準備、学習評価・成績処理、学校行事等対応、進路指導、支援が必要な児童生徒・家庭への対応、中学校での部活動指導等、多岐にわたる。

Q 小学校5、6年生への「教科担任制」が本年度から始まるが、本町の採用の課題は。

A 専門性を生かした指導は児童や教師にとって有用であるが、小学校では教科のバランスを意識した教員の配置はされていない。また、定数がクラス数で決まるため教科担任制の人員を増やすまでに至っておらず、一人

Q 中学校の休日部活動指導を地域に委ねる「地域移行」の部活動改革が文科省で決まったが、本町での実現に向けた課題と対応策は。

A 指導者や活動場所の確保、活動費用の制度づくり等が課題である。

新たに町内中学生が参加可能で地域の指導者が指導を行う「町営クラブ（仮称）」を設立し、準備が整った活動から順次開始を目指していく。

で複数教科を指導せざるを得ない状況である。できる教科から順次教科担任を増やす対応を考えている。



▲小学校5、6年生への「教科担任制」採用の検討が進められている

Q 町運行バスの利便性向上を

A 運行経路やダイヤの見直し



田崎 守人
議員



Q 本町が目指す公共交通の姿と取り組みの成果指標は。また、目標を達成する見込みはあるか。

A 移動しやすく交流できるまちを目指す。成果指標は町運行バス「うらら」の利用者数で、2023年に31万4千人を目標としているが、達成は難しいと考えている。

Q 利用者数の推移についての見解は。

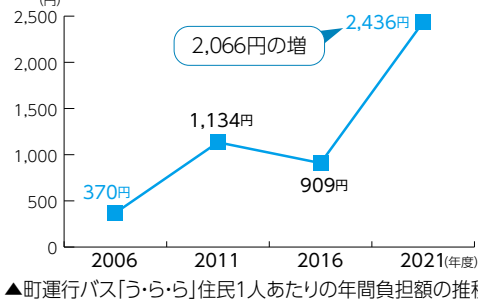
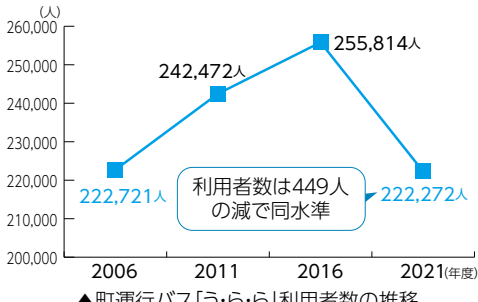
A 2021年度の利用者数は回復傾向にあるが、者数は回復傾向にあるが、テレワークやネット販売、宅配サービス等、外出しなくても生活できる新しい生活様式の普及が進んだことにより、コロナ禍以前の状態まで回復しない可能性があると考えている。

Q 2021年度住民1人あたりの年間負担額2436円について、本町の認識と見解は。

A 負担金額が上昇傾向にあることを認識している。利用者数が増え、運賃収入が増加することで、負担額の軽減につながると考えている。

Q 利便性を向上させる、利用者数を増やしていくための基本的な考え方と今後の具体的な取り組みは。

A 運行経路やダイヤの見直しと、利用されない方への周知や利用促進が必要であると考えている。今後の具体的な取り組みは、新たな交流が生まれる可能性を感じてもらえる機会を創出するワークショップ、行動範囲が広がる自由を体感するバスのりつき旅、「うらら」に不慣れな方への配慮や働きかけをするバス乗り方教室を開催していく。



語句説明 ①教科担任制…学校で、教科ごとに担任の教員を置く制度。教師のもつ専門的技量を生かすことなどが可能。 ②テレワーク…パソコン等の情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと

Q 5月まで続くのかコロナ感染

A 小児ワクチン接種を継続



山田 眞悟 議員



Q ワクチン接種の動向、町内と周辺病院のコロナ患者受け入れ態勢を問う。

A 令和3年度では園児94人、保育士19人が、4年度4月から8月19日時点で園児267人、保育士44人の感染者を確認している。

Q 12歳以上が対象の1から3回目接種、60歳以上と18歳以上で基礎疾患等がある方が対象の4回目接種、5歳から11歳が対象の1・2回目の小児接種を進めている。

A 受け入れ態勢は町内8医療機関が診療・検査に対応。入院病床はない。

Q 無料の抗原検査の実施を求める。

A 町独自で実施の考えはない。

Q 小中学校の授業方法、運動会の対応を問う。

A 運動場の状況に応じ、参観保護者数の制限などを行い、対応していく。

Q 保育園での感染拡大

A 該当の道路側溝は、年超過確率5分の1降雨に対応する排水施設であ

7月12日豪雨 排水・土砂崩れ対応 緒川字鰻池地域の排水対策を問う。



▲のり面の崩落(町道藤江線)

る。今回の道路冠水等は、整備計画雨量を超過したことが原因で、今後同様の被害を軽減するための対策を検討していく。

Q 緒川字北山神地内の擁壁崩落の対応の見解を問う。

A 被災箇所には町有地は含まれていないため、他の私有地における被災箇所同様に所有者に復旧工事を依頼している。

Q キャッシュレス決済のポイント還元事業取扱い業者を「ペイペイ」社で進めることは不当な取引と考えるが、町当局の見解を求める。

A ペイペイは、事業者負担が少なく利用者が多いため、経済効果が大きく見込めると考え、選定した。

Q 文化財、郷土資料館の保存活用

A 今年度中に、郷蔵の調査を予定



米村佳代子 議員



Q 愛知県指定文化財の絵画等(3点と、東浦町指定文化財の工芸「正宗短刀・長船長刀」は町外にて保管されているが、保管場所を問う。

A 愛知県指定文化財の絵画2点と書跡1点は名古屋博物館へ、東浦町指定文化財の工芸2点は熱田神宮宝物館へ寄託され、保管されている。

Q 文化財保存のため、郷土資料館内展示ケース内の管理体制整備を求め、検討を問う。

A 温度・湿度・照度等を定期的に管理し展示を実施するためには、特別展示室の新設が必要になり、大規模な施設改修が必要であるため、現在のところ計画はない。

Q 緒川村郷蔵(未指定文化財)を登録文化財

とすることを望み、対応を問う。



▲緒川村郷蔵

A 現状は劣化により、解体は避けられない。今年度中に郷蔵の調査を予定しており、どのような建物があったのか記録に残す作業を行う。

Q 熊本地震等では授乳できる場所がなかったりする事態が起きた。災害時の避難所でスムーズな母乳育児継続支援の取り組みに授乳服を防災備蓄する検討を問う。

A 今のところ考えていないが、非常持出品等として、ご自身で準備してもらえよう周知していきたい。

Q 筑波大学大学院非常勤講師光畑由佳氏が開発した授乳服(いつでもどこでも誰の目も気にすることなく赤ちゃんが泣く前に授乳できる機能服)を産後の女性が外へ出る後押しができる子育て支援とし

て贈呈する自治体が増えている。妊娠・出産時における贈呈の検討を問う。

A 使用しない方もいる等ニーズがさまざま、現在のところ考えていない。



OKOMEITO

▲子育て・女性活躍支援

語句説明

①キャッシュレス決済…クレジットカード、電子マネー、QRコード決済、銀行振込や口座引落等、現金以外で支払う決済手段全般のこと ②緒川村郷蔵…尾張藩の頃、年貢米を保管したり、生活に困った者に給与する米、不作の年に備える米等を貯蔵したりした。



▲石浜中自治会で開催された夏祭り盆踊り大会

Q 地区に対しての訃報連絡は

A 訃報の連絡はできない

Q 地区イベントは、住民同士が顔を合やす機会となり、準備や計画をすることにより結束も高まり、安否確認にもつながると考えるが、見解は。

A 地域住民同士の相互扶助意識の向上や、地域住民の創意工夫を活かした地域の課題解決への取り組みにつながる。

Q コロナ禍での地区イベント実施に対する見解は。

A 地区によって違いもあり、各組織で構成する地域住民の方々によって話し合いをして、実施の可否を決定。



大川 晃 議員



▲災害対策本部となる役場西会議室

Q 敬老事業の代替事業の検討を要望しているが、どのような事業を検討しているのか。

A 地域包括ケアの考えを基に、コミュニティソーシャルワーカー^①の配置、認知症に関する施策、介護予防などの事業に取り組む。

災害対策体制について

Q 災害対策本部を立ち上げる条件は。

A 大雨や暴風などの気象予報が発表されたときや、震度5弱以上の地震が発生したとき、町内で相当規模の災害が発生するおそれがあるとき、または発生した場合において、町長が必要と認める場合に設置する。

Q 災害対策本部の対応人員と開設場所は。

A 本部長および副本部長2人、本部員9人で構成され、役場西会議室に開設する。

Q 避難所を開設するときに行う建物の安全確認は、誰がどのような手順で行うのか。

A 大規模な地震が発生した場合、被災建築物応急危険度判定士の資格を持つ本町職員による応急危険度判定を行うことを原則としているが、職員の到着が遅れる場合は、避難所施設に合わせたチェックシートに基づいた、自主防災会による安全確認の実施も想定している。

Q 風水害時の登下校と救急車搬送

A 危機管理マニュアルを作成

Q 7月12日の大雨時の下校における教育委員会の指示と各小中学校の対応および保護者連絡等の状況は。

A 年度当初に、通学路の通行が危険な場合や気象状況により帰宅が困難な場合は、学校待機という通知を出している。また、通学路等の安全を確保した上での下校の際は、原則として集団で下校、必要に応じて保護者への引き渡しを指示している。

Q 令和4年度の各小中学校の学校経営案での安全指導の重点と防災・警備に関する計画との連携は。

A 関連付けは意識している。この連携をより具体的に示すものとして、危機管理マニュアルを作成している。

12月に改選される

民生委員・児童委員^②は

Q 各地区の民生委員・児童委員の退職者と新人委員の現状は。

A 本町の定数は74人で任期は令和4年11月30日までである。改選に伴う各地区の退職者と新任者は、森岡地区で退職者3人、新任者1人。緒川地区で退職者1人、新任者1人。石浜地区で退職者3人、新任者3人。緒川新田地区で退職者1人。緒川新田地区で退職者3人、新任者3人。

Q 児童・生徒また園児が、救急車で搬送された事例は。

A 児童・生徒については「授業中や部活動、休み時間のけが」が6件、「病気による発作」が2件、「交通事故」登校時が3件、下校時が2件の合計13件である。公立保育園については、「呼吸困難」になった園児に、誤飲の可能性があったことから救急車で搬送された事例は1件である。



前田 明弘 議員



▲現地視察(緒川字北山神地内)

語句説明

①コミュニティソーシャルワーカー…地域住民の相談等から必要な支援につなげたり、地域のネットワークづくりなどに取り組む専門職のこと
②民生委員・児童委員…民生委員は地域の高齢者の援助等、暮らしを支援し、児童委員は児童や乳幼児、妊産婦等の相談や援助を行う。兼務。

Q 子ども食堂に物的人材育成支援

A 国や県等と連携・協働を図る

Q 物的支援の具体的な取組は。

A 食材等は、フードバンク団体や地域から調達することが多い。賞味期限が迫った国等の備蓄食料の配布も行っている。

また、活動費は「東浦町ボランティア活動支援交付金」や町社会福祉協議会の「集いの場運営費助成金」を案内、交付している。

Q 人材育成支援の具体的な取組は。

A 国や県等が開催している研修会やセミナーについて関係団体に情報提供を行っている。

また、合わせて町社会



▲「子ども食堂」に支援を



秋葉富士子 議員



福祉協議会が行っている「居場所づくり推進事業」を通じて人材の発掘等を行っている。

住民の安全安心を守る

災害情報の伝達

Q 人や車の通行頻度と

冠水の危険性が高いアンダーパス^①に注意喚起の看板等を設置することを提案するが、見解は。

A 注意喚起の看板等を含め、冠水時の危険回避の対策を関係部署と検討する。

Q 気象庁の「危険度分布

(キキクル)^②の活用を住民に周知することを提案するが、見解は。

A 「キキクル」は防災気象情報の一つで、本町でも災害対応の判断材料の一つとして活用している。住民が情報収集の手段として活用できるよう、町

HPやイベント等で周知していきたい。

男性トイレにサンタリーボックスの設置を

Q 前立腺がんの手術の

後遺症で尿漏れパッドを使用する人が多くいる。最近では、外出時に使用済みパッドの後に始末に困っている人が多くいることがわかってきた。多様な住民の声にこたえるため、公共施設の男性トイレにサンタリーボックスを設置することを提案するが、見解は。

A 今後は病気や高齢の方も安心して社会とつながり、外出することができよう、さらにきめ細やかな配慮が必要になると考えている。まずは、

広さに余裕のある多目的トイレ等に設置することを検討したい。

Q イオンモールの駐車場の冠水は

A 雨水貯留機能を有した駐車場

Q イオンモールの駐車

場が冠水し、多くの自動車が進めなくなったが、降水量から判断して、予想された冠水状況であったのか。

A 当該駐車場は、雨水

貯留機能を有した駐車場であり、非常時において調整池として使用することを記した表示板があり、冠水の可能性があることは認識していた。

Q 7月12日の豪雨を受けて、東浦町防災マップ

の内容を見直す考えは。

A 直ちに更新することは今のところ考えていない



▲町有財産に関わる土砂崩れ被災場所(緒川字葭池地内)

いが、各種ハザードマップの更新状況や避難情報の変更等、必要性を勘案しながら更新時期を検討する。

東浦町立地適正化計画

Q 災害リスクのある区

域も居住誘導区域に含むのか。

A 想定最大規模の災害リスクを基に、事前予測が可能という点を考慮し、避難を前提に、避難距離等の条件を設定の上、検討している。

Q 防災指針を策定した

後に、居住誘導区域、都市機能誘導区域を策定した方が良いと考え

るが、見解は。

A 居住誘導区域および都市機能誘導区域を検討する上で、防災的な視点だけでなく、人口動向、人口密度、現在の都市機



小松原英治 議員



能等のまちづくり的な視点からも判断することが必要である。そのため、先に防災指針のみを策定するのではなく、並行して検討している。

Q 農地転用の許可申請

件数は。

A 許可した件数は、平成29年度22件、平成30年度22件、令和元年度25件、令和2年度14件、令和3年度27件となっている。

Q 転用許可申請の内容

と異なる用途とした場合、農地法による対応方法は。

A 愛知県に事業計画変

更承認を提出し、承認を受ける必要がある。変更の内容によっては、承認が認められず、申請からやり直すよう指導する場合もあると聞いている。

語句説明

①アンダーパス…立交差で、掘り下げ式になっている下の道路

②農地転用…農地を農地以外のものに変えること。農地転用をするには農地法により許可を得る必要がある。

Q 胃がん検診に胃カメラの導入を

A 胃内視鏡検査の実施を検討する

Q 本町で実施した各種がん検診の状況を伺う。
A 令和元年度は左表のとおり。

	対象者	対象者数	受診者数	受診率
胃がん検診	40歳以上	29,284	1,798	6.1%
大腸がん検診	40歳以上	29,284	2,594	8.9%
子宮頸がん検診	20歳以上	20,194	1,485	7.4%
乳がん検診	40歳以上	14,925	1,537	10.3%
肺がん検診	40歳以上	29,284	5,357	18.3%

※受診者数は東浦町で実施した「がん検診」の受診人数
▲東浦町で実施したがん検診受診率(令和元年度実績)

実施している。実施場所や時間帯等受診の障害となつていふことも想定され、より利便性の高い検診体制を構築する。

Q 胃がん検診で身体的な事情で胃部エックス線検査が困難な方がいるが、胃内視鏡検査(胃カメラ)を導入し、受診者が選択できるようなことにすることで受診率の向上、早期発見につなげる。早期実現に向け検討する考えは。

A 身体状況により、バリウムを肺へ誤嚥する事例、検査機器からの落下リスク等、検診を受けられない事例は認識しており、胃内視鏡検査の実施について検討する。

Q がん検診と住民検診(肺がん・結核検診)、保健センターと各地区で実施しているが、受診率を上げるための課題は。

A がん検診は保健センターのほか町内5カ所で、住民検診は町内14カ所で



間瀬 宗則 議員



方針は。

A 国の「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」のビジョンを実現するために「東浦町DX推進基本方針」を策定し進める。

Q 全庁・横断的に推進する組織体制の考えは。

A 町長、教育長等で構成したDX推進本部を設置し体制の強化を図る。

Q 町民の生活はどう変わるのか、現時点で検討している具体例は。

A 今年度、取り組んでいるオンライン化により「児童手当等子育て関係の申請」や「要介護・要支援の認定等介護関係の申請」の手続きが、夜間や休日でも申請可能となり、利便性が向上する。

自治体DXの推進に期待

Q DXを推進する町の

議会トピックス

GIKAI TOPICS

定例会だけじゃない! 議会の動き

8/9 分かりやすい 議会だよりを目指して

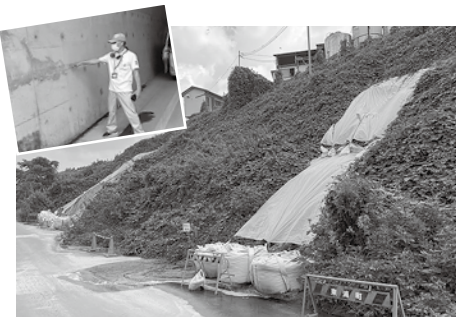
第35回愛知県町村議会広報研修会に議会広報特別委員が参加し、議会広報発行の意義を再認識するとともに、伝わる広報作成の編集スキル等を学びました。また、本町議会だよりの評価も行われ、優良点および改善点が示されました。今回の研修で学んだことを活かし、住民の方により身近に感じただけの議会だよりの作成を目指します。



8/22

安全で快適に暮らせるまちづくりを!

8/10 大雨による主な被災場所を視察



7月12日(火)の大雨による町内の主な被災場所を議員が視察しました。視察場所は森岡、緒川、藤江の計8カ所で、路肩の崩落や土砂崩れ、浸水位を確認。今後、災害復旧や防災対策について、町当局と随時意見交換や、議会としてのチェック機能を果たしていきます。



東浦町がより安全で快適な町になるよう、町長と議長で愛知県に建設事業の要望書を提出しました。要望箇所は全15カ所で、道路改良や交差点改良等、住民生活や防災機能の向上が期待されるものです。

語句説明

① DX…デジタルトランスフォーメーション。進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革すること